

第63回宮崎県学校体育研究発表大会

高等学校部会

1 研究主題

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを
 継続するための資質・能力を育む保健体育科学習の在り方
 ～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～

2 日程

| | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------------|------------------|--|---|--|-----------------------------------|---|--|--|------------------|
| | 9:00 | 9:50 | 10:45 | 11:45 | | 13:30 | 14:30 | 15:00 | 16:30 | |
| | 8:40 | 9:40 | 10:35 | 11:35 | 12:35 | | 14:20 | 14:45 | 16:00 | |
| 受付 | 開 会 行 事 (40分) | 視 点 説 明 | 公 開 授 業 小 学 校 (45分) | 公 開 授 業 特 別 支 援 (50分) | 公 開 授 業 中 学 校 (50分) | 昼 休 食 憩 (55分) | 公 開 授 業 高 等 学 校 (50分) | 指 導 助 言 が 言 り (全体) (15分) | 授 業 研 究 (4部会) (60分) | 閉 会 行 事 |

① 公開授業

| 種 別 | 学 年 | 単 元 | 発 表 者 |
|------|------|--------------------|---------------------------|
| 高等学校 | 第3学年 | 球 技 (ゴール型：サッカー) | 県立日向工業高等学校 教 諭 徳 峰 敬 祐 |

② ワークショップ型授業研究

| 部 会 | 役 職 | 氏 名 |
|----------|-------------------|---------------------|
| 高等学校 | 指導助言者 | 日本女子体育大学教授 高橋 修一 |
| | 司会者 | 県立日南振徳高等学校教諭 高野 茂嘉 |
| | 記録者 | 県立高千穂高等学校教諭 佐藤 知穂 |
| | | 県立延岡青朋高等学校講師 室谷 知江美 |
| コーディネーター | 県立宮崎南高等学校教諭 工藤 英世 | |
| | 県立都城西高等学校教諭 日高 大輔 | |

ア 事前研究会からの変化

【授業 体育 サッカー（徳峰先生）】

- 本時の目標を ICT を利用して確認したことで、生徒の活動がスムーズに行えた。
- スキルアップトレーニングを行う中で、マーカーやコーンを活用して効率的な活動ができた。
- 怪我や体調不良の生徒に撮影をさせることで、生徒全員が関わることのできる授業ができた。
- 戦術ボードを利用して視覚的に空間を認知しやすい教具を活用することができた。
- ゲームを止めることなく、運動量を確保しつつ積極的な声掛けができた。
- 本時のまとめの段階で Google フォームを活用して、個人評価を行うことができた。
- 生徒が授業を積極的に受けてくれて、雰囲気の良い授業を行うことができた。
- ICT をスムーズに活用できる生徒とそうでない生徒がいるため、声掛けやサポートが必要であった。
- ICT 使用が苦手な生徒に対して、説明と教材の準備が足りなかった。
- 空いた空間に移動するイメージが湧いていない生徒に対して、積極的な声掛けをすることができなかった。
- あと少し時間があれば、Google フォームに入力させたアンケート結果を全員で共有させたかった。

イ 視点に対する最終的な成果

【授業 体育 サッカー（徳峰先生）】

- 12 年間の見通しを持った授業展開を意識し、3 対 2 などの数的優位な局面の練習を積み重ねたことで、ボールを持たない動きによる空間作りと、空間に動く技能を伸ばすことができた。
- Google フォームを活用し、データの集約を容易にすることができた。また、撮影した動画を見直すことで、実際の指示や本人達の動きを整理しながら授業を行うことができた。

■授業風景



①ICT を活用した授業説明



②スキルチェックの状況を入力



③本時の評価の説明



④試合前の戦術確認



⑤動画撮影



⑥ゲーム分析 I



⑦ゲーム分析 II



⑧ゲームの様子

ワークショップ型授業研究会について

【高等学校部会：サッカー】

1 日程 15:00～16:00 (60分)

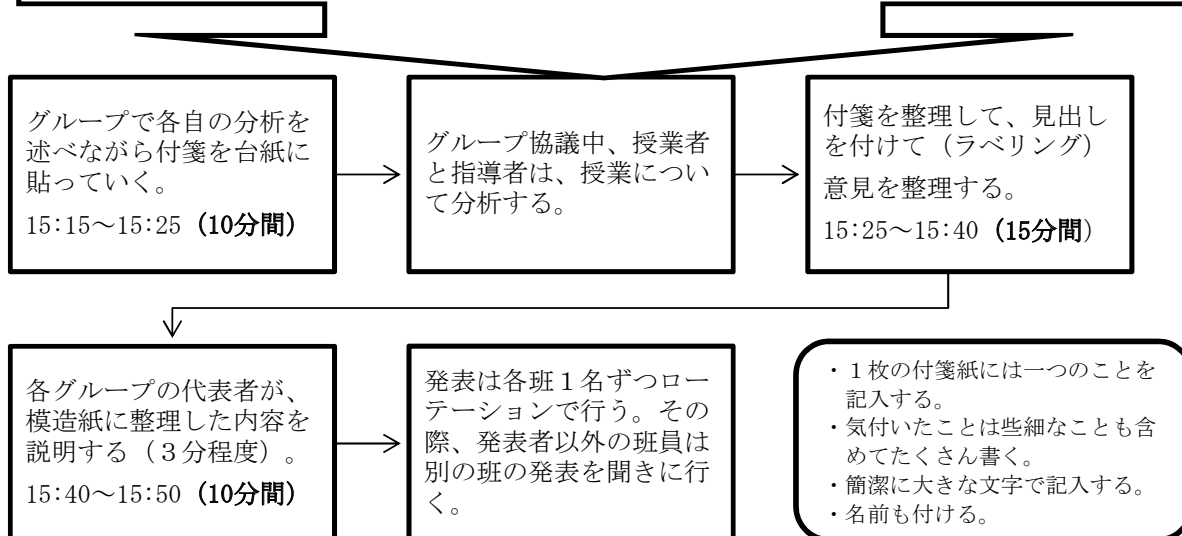
| | 時間 | 内容 | 授業者 | 助言者 |
|--------|-----|--|------|-----|
| 15:01～ | 5分 | 授業者反省 ・ 県立日向工業高等学校 徳峰 敬祐 教諭 | 着席 | 着席 |
| 15:06～ | 5分 | 質疑・応答 | 着席 | 着席 |
| 15:10～ | 5分 | ワークショップ型授業研究会の説明 | 着席 | 着席 |
| 15:15～ | 35分 | ワークショップ ★ 高等学校部会公開授業 「球技：サッカー」 1 カリキュラム・マネジメントの工夫 ○ 学習内容系統図の作成は適切で効果的な活用がなされていたか 2 指導方法の工夫 ○ 授業の目標を達成するために、授業の展開における効率的で効果的なICT活用ができていたか | 授業反省 | 周回 |
| 15:50～ | 10分 | 指導講評 ・ 日本女子体育大学 高橋 修一 教授 | 着席 | 着席 |

2 授業参観の視点

| |
|---|
| <p>【高等学校部会公開授業「第3学年 球技：サッカー」】</p> <p>1 カリキュラム・マネジメントの工夫</p> <p>○ 学習内容系統図の作成は適切で効果的な活用がなされていたか</p> <p>2 指導方法の工夫</p> <p>○ 授業の目標を達成するために、授業の展開における効率的で効果的なICT活用ができていたか</p> |
|---|

3 ワークショップの進め方

| |
|--|
| <p>※授業開始前に付箋紙を配付する。</p> <p>○付箋紙へ授業参観の視点で記入をする。（主観を避け、事実を客観的に表現する。）</p> <p>【青色の付箋紙】・・・『生徒の良いところ』『教師の良いところ』</p> <p>【赤色の付箋紙】・・・『生徒の改善点』『教師の改善点』</p> <p>【黄色の付箋紙】・・・『質問したい点』『疑問点』</p> <p>① 授業参観時に、模造紙（学習指導過程拡大）に黄色の付箋紙を貼り付ける。</p> <p>② 研究部員で、付箋を整理し、授業研究会までに内容を授業者に伝える。</p> <p>③ 授業者は、その質問に沿って、応答する。</p> <p>※ ワークショップ時に新たな質問点・疑問点が生じた場合は、黄色の付箋紙を活用する。</p> |
|--|



授業者反省

【徳峰先生授業感想】

- ・事前研究会での反省を生かし授業づくりを行った。
- ・ICT活用の成果もあり、生徒も見通しを持ってスキル練習に取り組むことができた。
- ・12年間の見通しを持った授業を意識し、特に中学校とのつながりを意識しながら授業を行った。
- ・戦術ボードを使用し、空間を認知しやすい教具を用いた。
- ・県北地区教科研究委員会で研究されている「スキルチェックシート」をICTを用いて活用し、技能向上に役立てることができた。
- ・県北地区の保健体育科の先生方はじめ、多くの方々に支えられ無事授業を終えることができた。また、指導助言を頂いた堀口指導主事や同僚である日向工業高校の保健体育科の先生方にも支えられた。この経験を通して、自分自身多くのことを学び得ることができ、達成感を味わうことができた。感謝したい。

指導・助言

【日本女子体育大学 高橋 修一 教授】

- ・技能が高く驚いた。専門の先生ということもあって、生徒もそれにつられて技能が高くなったということも考えられる。
- ・今回の授業の前に思考、判断、表現を評価する時間があったので、その授業も是非見たかった。技能だけが高ければ生涯スポーツに繋がるか、というところではなく生徒自身がスポーツをプロデュースできるチカラをつけてあげることが重要である。そのため、参加した生徒がまた来たい、楽しかったと思ってもらえるような場面を作ることができる能力を授業の中で作り、身に付けさせたい。
- ・できなかったことができるようになるだけではなく、考える力、態度、技能、知識の4つで評価すること、そのバランスをよく指導していくことが重要である。
- ・味方が作り出す空間をボードを使って教える場面があったが、助言しすぎると生徒の思考判断する場を奪ってしまう恐れがある。元となる知識は生徒にしっかり教えて、それを使って思考判断できるように仕向けていくことが重要である。
- ・技能が高い生徒は、色々な発想を出したり、考えたり、伝えたりすることができるので、教員はその場面を作れば良い。
- ・ICTをグランドを使用する際に私物の端末を教育用に使う（BYOD）は利用制限もあるので、今後配慮が必要になる。
- ・スキルチェックシートはエクセル入力したらグラフ化できるため今後も利用すべきである。
- ・「どうやったら上手くできるか」「怪我をしないか」「仲間と楽しくできたか」「継続できるか」の4つの項目が生涯スポーツに繋がるため、この4つの観点から授業作りをするべきである。
- ・豊かなスポーツライフの継続に向けて、子供達にどんなチカラをつけてあげれば良いのか。そのためにはどんな授業作りが必要なのかを今後考えて頂き、授業の充実に繋げてほしい。

■高等学校学校体育部会 授業研究会 議事録

ディスカッションの記録（４０分間）

| | 良かった点 | 改善点 |
|--------|--|--|
| A 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・スキルチェックシートはデータが残るため、管理しやすい。 ・サッカー経験者がリトルティーチャーとしてうまく働きかけができていた。 ・効率的なスキル練習を行っていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作戦ボードはグーグルのジャムボードでもできるのではないかな。 ・ゲームに繋がる練習や生徒が話し合う場面がもっとあっても良かった。 |
| B 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れ、内容の指示などがスムーズで良かった。 ・コーチングを生徒同士で行っていたのが良かった。 ・授業者の声掛けが良く雰囲気良かった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・机の向きがスクリーンに背を向ける形になっていたため、変えてもよかった。 ・動画撮影は平面より、上から撮影した方が良かったのではないかな。 |
| C 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・スキルチェックがパターン化されていて良かった。ドリブルもタイム測定で良かった。 ・運動量の確保についても十分であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・縦のスペースの使い方。 ・生徒の理解度がどうだったかな。 ・ボールが転がりすぎていたので工夫があってもよかった。 |
| D 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標が明確化されていた。 ・ICTを活用しており、生徒も積極的に活用していた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用の工夫で、1プレイの動画を撮りだして見せることができればもっと分かりやすい。 |
| E 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成できていた。 ・空間を分かりやすくする工夫がみられた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT使用について、生徒がパスワードを覚えていないなどがあった。 |
| F 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・空間を作り出す動きができていた。 ・スキルチェックはどれだけ伸びたか、明確にわかるのでよかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペースが大きすぎてできていないことがあった。 ・動画よりも戦術ボードを見ている生徒が多かったため、例えば「〇分〇秒あたりの動画を見てみよう」などがあっても良かったと思う。 |

■授業研究会、グループディスカッションの様子

